

令和八年度一般選抜試験

個別学力試験問題(前期日程)

国語

注意

- 一、問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 二、問題紙は十五ページ、解答用紙は一枚です。指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
- 三、答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 四、解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 五、試験終了後、問題紙は持ち帰ってください。

令和8年度一般選抜個別学力試験（前期日程）

問 題 訂 正
国 語

訂正箇所	1 ページ 右から1行目
誤	<input type="checkbox"/> 次の文章を読んで、問いに <u>答</u> えよ。
正	<input type="checkbox"/> 次の文章を読んで、問いに <u>答</u> えよ。

—

次の文章を読んで、
問いに答えよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(三木那由他『言葉の展望台』による)

(注1) LGBT——性的指向あるいは性自認が典型的・規範的なあり方とは異なる人(性的マイノリティ)。レズビアン(Lesbian)・ゲイ(Gay)・バイセクシュアル(Bisexual)・トランスジェンダー(Transgender)の頭文字をそれぞれとったもの。本文中の「LGBTQ」は、その四種以外も含めた性的マイノリティを包括的に指す用語。

(注2) プロム——アメリカなどの高校で行われるダンスパーティー。男女のペアで参加するのが通例とされる。

(注3) アライ——LGBT当事者を理解し、支援する人。

問一 傍線部1～4を漢字に書き改めよ。

問二 傍線部A「言葉の引力の中心地から、その力に逆らって多少の発展的な使用をする」とは具体的にどういうことか。本文中で言及されている具体例を挙げよ。

問三 傍線部B「それはそもそもその重力圏内にいない者にしかできない発言だった」とはどういうことか。「重力圏内」という比喩を用いず、具体的に説明せよ。

問四 傍線部C「なぜもつと具体的に話さないのか」という問いに対して、筆者はどのように答えているか、説明せよ。

問五 傍線部D「本も新聞もSNSも日々の会話も、単なる言葉と言葉の応酬ではなく、一種の勢力図のように見えてくる」とあるが、それはなぜか。「コミュニティ」という語を用いずに説明せよ。

二

次の文章は、川上弘美の句集『王将の前で待つてて』についての書評である。この文章を読んで、問いに答えよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(長嶋有「精確に寂しい」による)

(注) 示準化石——地層の地質年代を特定する指標となる化石のこと。

示相化石——地質が堆積した当時の環境を特定する指標となる化石のこと。

フォボス・ダイモス——火星の衛星。

問一 傍線部「女の発光が比喻でない気がしてくる」のはなぜか。本文に即して分かりやすく説明せよ。

問二

(1) 筆者による鑑賞の仕方には、どのような特徴があると考えられるか。本文中の具体例をあげて根拠を示しながら説明せよ。

(2) (1)において説明した特徴は、読者に対してどのような効果を持つと考えられるか、説明せよ。

三

次の文章を読んで、問いに答えよ。

あるなま宮仕へ人の清水(注2)に籠もりたりける局の前に、色白(注3)ばみ、されほれたる老尼の、かげのごとくやせ衰へたる、物を乞ひ歩くありけり。十月ばかりに、汚(注4)げなる破れ帷(注5)一つ着て、上に蓑(注6)を着たりけり。見る人、「あないみじのさまや。雨も降らぬに、など蓑を着たるぞ」と問ふ。「これよりほかに持ちたるものなければ。寒さは寒し。ず(注7)ちなくて」など答ふるを、「暖まりあるべしとこそ覚えね」などいひて笑ひけり。

果物など食はせされたれば、うち食ひて立ちけるを、いかが思ひけむ、呼び返して、単(注8)をなむ一つ押し出だしたり。

よろこびて取りて去ぬと思ふほどに、同じ寺に奉加(注8)すすむる所に行きて、碗(注8)乞ひて、いとうつくしき手にて、この歌を書き付けつつ、単を置きて、いづちともなく隠れにけり。

かの岸にこぎ離れたるあまなればおしてつくべきうらも持たらず

(鴨長明『発心集』による)

(注1) なま宮仕へ人——いい加減な気持ちで宮仕えをしている女性。宮仕えが未熟な女性。

(注2) 清水——清水寺。本尊(注8)は十一面観音。人々の尊崇を集め、何日も泊まりこんで祈る者が多かった。

(注3) 色白(注3)ばみ、されほれたる——顔色が青白く、年老いて生気がない様子。

(注4) 十月——旧暦十月は初冬。(注5) 破れ帷——破れた単の衣。破れた布一枚の衣服。

(注6) 蓑——藁(注6)や萱(注6)などを編んで作った雨具。

(注7) 押し出だしたり——局の御簾の内側にいる「なま宮仕へ人」が外にいる老尼に単を押し出して与えた。

(注8) 奉加——寄付。寄進。

問一 傍線部A「いみじのさま」、傍線部B「ずちなくて」を口語訳せよ。

問二 傍線部C「笑ひけり」について、なぜ「見る人」は老尼を笑ったのか、説明せよ。

問三 傍線部D「よろこびて」について、なぜ老尼は喜んだのか、説明せよ。

問四 次に示すのは、傍線部Eの和歌に関する生徒たちの話し合いの様子である。これを読んで、空欄ア～ウに入る適当な発言を、本文を参考に記せ。同じ記号の空欄には同じ発言が入る。なお、空欄アは漢字一字、その他の空欄は現代語で記すこと。

生徒①…傍線部Eの和歌にはいろいろな技法が使われているな。漁業に従事する「海人」と自分自身を指す「尼」が掛詞になっているし、「くぐく」が「海人」の縁語になっていると思う。

生徒②…老尼がもらった単も、和歌の技法や内容と関わっているのではないかな。単はア 地が付いていない一重の衣類のことだから、「うら」は「浦」と「ア」の掛詞で、「つく」も舟が「着く」と着物に「付く」の掛詞のはずだ。

生徒①…和歌全体の意味はどうなるのだろう。掛詞があるから二通りに訳せるはずだ。

生徒③…まず上の句を考えてみよう。「あちらの岸に向かってこちらの岸をこぎ離れた海人なので」と「彼岸に向けて俗世を離れた尼なので」という二通りに訳せそうだ。悟りの境地である「彼岸」を目指して修行に励む自分自身を、舟で対岸に進む海人にたとえているのだと思う。

生徒②…下句では、「舟を停泊させる浦もありません」ということと「イ」も持っていません」ということを表現しているのではないかな。休むことなく修行に励む自分には、衣類は不要だと述べているのだね。

生徒①…これからもつと寒くなる時期に、十分な衣服を持っていないにも関わらず手放してしまえるなんて、普通の人にはできないことだなあ。それにしても、和歌が観音にささげる品物の説明にもなっているんだね。掛詞や縁語が巧みに使われていて、和歌自体も観音にささげるのにふさわしい作品になっているみたいだ。

生徒③…優れているのは内容だけではないよ。和歌を詠み出した状況も見てみて。

ということもわかるんじゃないかな。

ウ

生徒②…周囲の人からあわれまれたり侮られたりしていた老尼が、実はただ者ではなかった、と最後に明かされる仕組みになっているんだね。

四

次の文章は、元代の文学者楊維禎（一二九六〜一三七〇）が、筆史（筆職人）の陸穎貴をほめたたえて贈った文章の前半で、筆や筆職人の故事について述べている。読んで問いに答えよ（設問の都合で送り仮名・返り点を省いたところがある）。

韓子為^レ筆^ノ作^ル穎^ノ伝^ヲ穎^ノ莫^ク貴^キ中山之毫。漢制天子筆皆用^ル兔^ノ

蒙^テ恬^ニ以^テ鹿^ノ毛^ヲ為^シ柱^ト羊毛^ヲ為^シ被^ト。歐陽通以^テ狸^ノ毛^ヲ為^シ主^ト覆^フ以^テ兔^ノ毫^ヲ

則^チ知^ル穎^ノ不^ク独^ク貴^キ於^テ兔^ノ也。宣州諸葛氏伝筆有^リ二^ノ等^一。高貴者^{ナリ}

柳公權求^ム而^テ与^フ之^ニ。又語^リ其^ノ子^ニ曰^ク、学士能^ク書^ハ、当^テ留^ル此^ノ筆^ヲ、不^レ爾^ラ

請^フ退^ク還^ル。未^ダ幾^ク果^シ退^ク還^ル。即^チ以^テ常^ノ筆^ヲ与^フ之^ニ。蓋^シ高貴者^ハ非^ズ右軍不^レ

能用^ル也。

（楊維禎「贈筆史陸穎貴序」による）

(注) 韓子——韓愈のこと。唐代中期の文学者。

穎伝——韓愈の文「毛穎伝」。筆を擬人化した架空の伝記。穎は筆先の細い毛のこと。

中山——戦国時代の国名。今の河北省中南部一帯。毫——兔等の細い毛。

蒙恬——秦の將軍。筆を初めて作ったという伝説がある。

柱——筆の毛の中心。被——筆の毛のまわりの部分。歐陽通——唐代初期の書家。

宣州——今の安徽省南部。柳公権——唐代後期の書家。学士——学問をする人を尊敬して言う。

退還——返却。右軍——王羲之。東晋の書家。右軍將軍の官職にあった。後世、書聖と呼ばれた。

問一 傍線部1「則」、2「蓋」の読みを答えよ。送り仮名があれば、送り仮名を含めて答えよ。現代仮名遣いを用いてもよい。

問二 傍線部A「穎莫貴中山之毫」は「穎は中山の毫より貴きは莫し」と訓読する。解答欄の白文に返り点をつけよ。振り仮名、送り仮名は不要。

問三 傍線部B「当留此筆」を平仮名だけで書き下せ。現代仮名遣いを用いてもよい。

問四 傍線部C「非右軍不能用也」を、口語訳せよ。「右軍」はそのまま用いよ。

問五 二重傍線部「退還」について、柳公権はなぜ筆を返却したのか、わかりやすく説明せよ。